

# 新補助金班

石井  
藤井  
黒崎  
畔上

(阿部もうすぐ・・・)



# 背景

◆ Copenhagen Consensus 2004

- ・AIDS
- ・貧困
- ・補助金と貿易障害...etc

◆ 日本の環境税

～補助金を前提～

# Table of contents

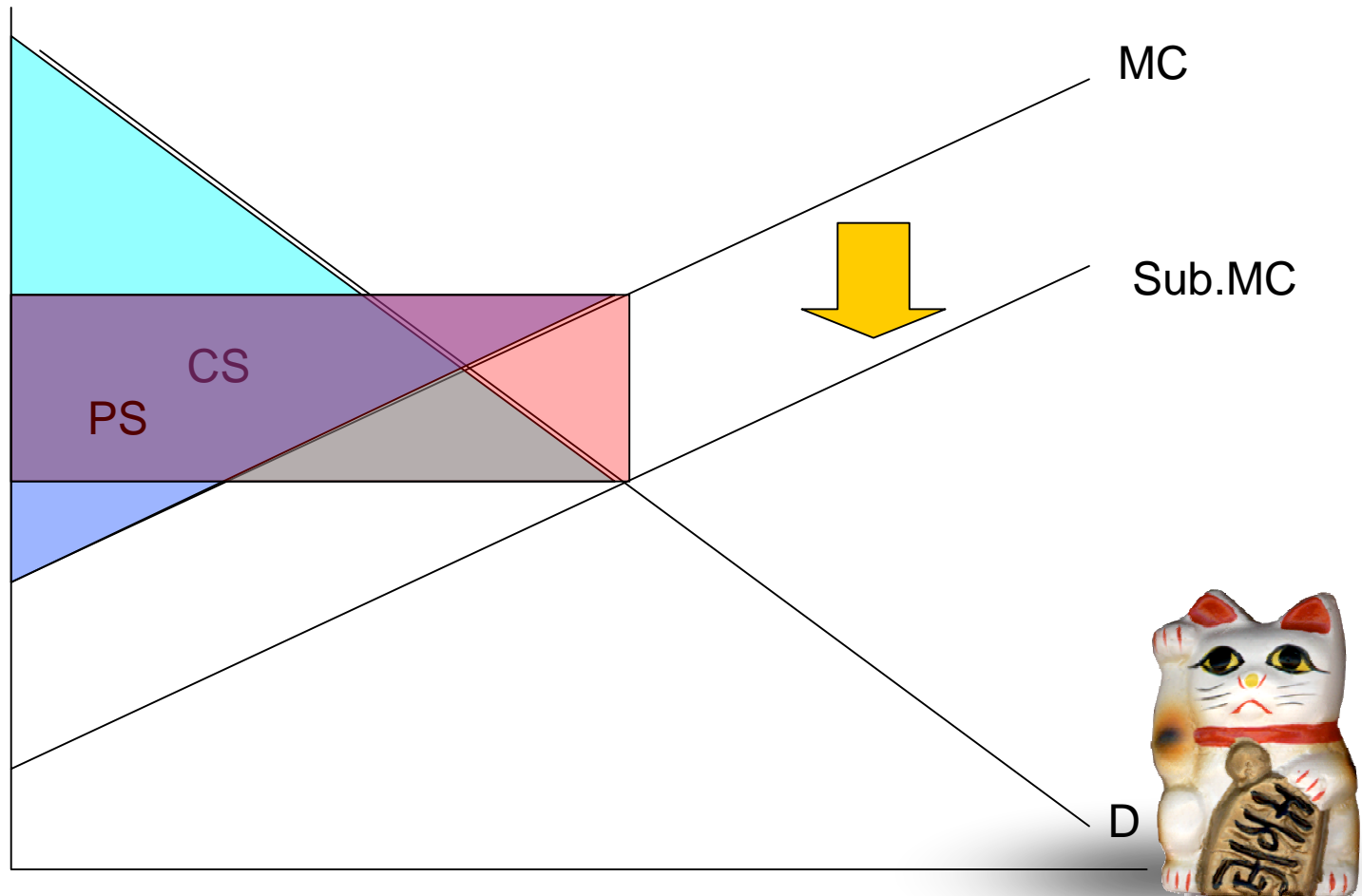
- ✦ 補助金の経済理論的裏づけ
- ✦ 外部不経済があるケースの補助金の意味
- ✦ エネルギー分野における補助
- ✦ 外部経済があるケースの補助金の意味  
(夏合宿)
- ✦ EBS促進時の留意点～競争性の確保～
- ✦ 今後の方針

# 補助金

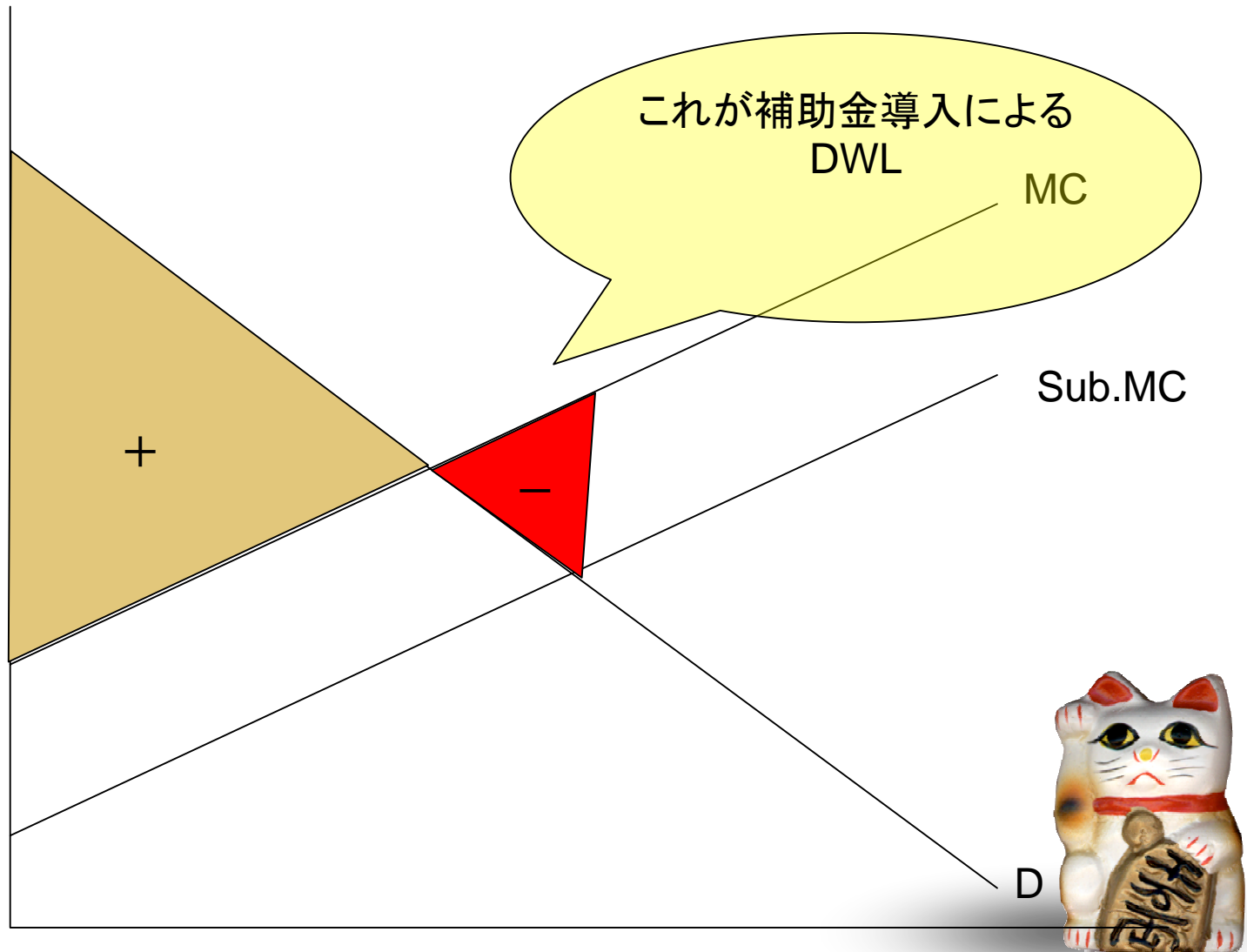
- ✦ 経済的手法
- ✦ 抵抗が少ない
- ✦ 減税・免税も補助といえる
- ✦ 経済厚生を減少させてしまう



# Dead Weight Loss



# Dead Weight Loss



# 補助金の正当化

✦ 補助金の導入⇒経済厚生down

✦ 現実には、外部不経済のあるような財へ補助政策が採られている

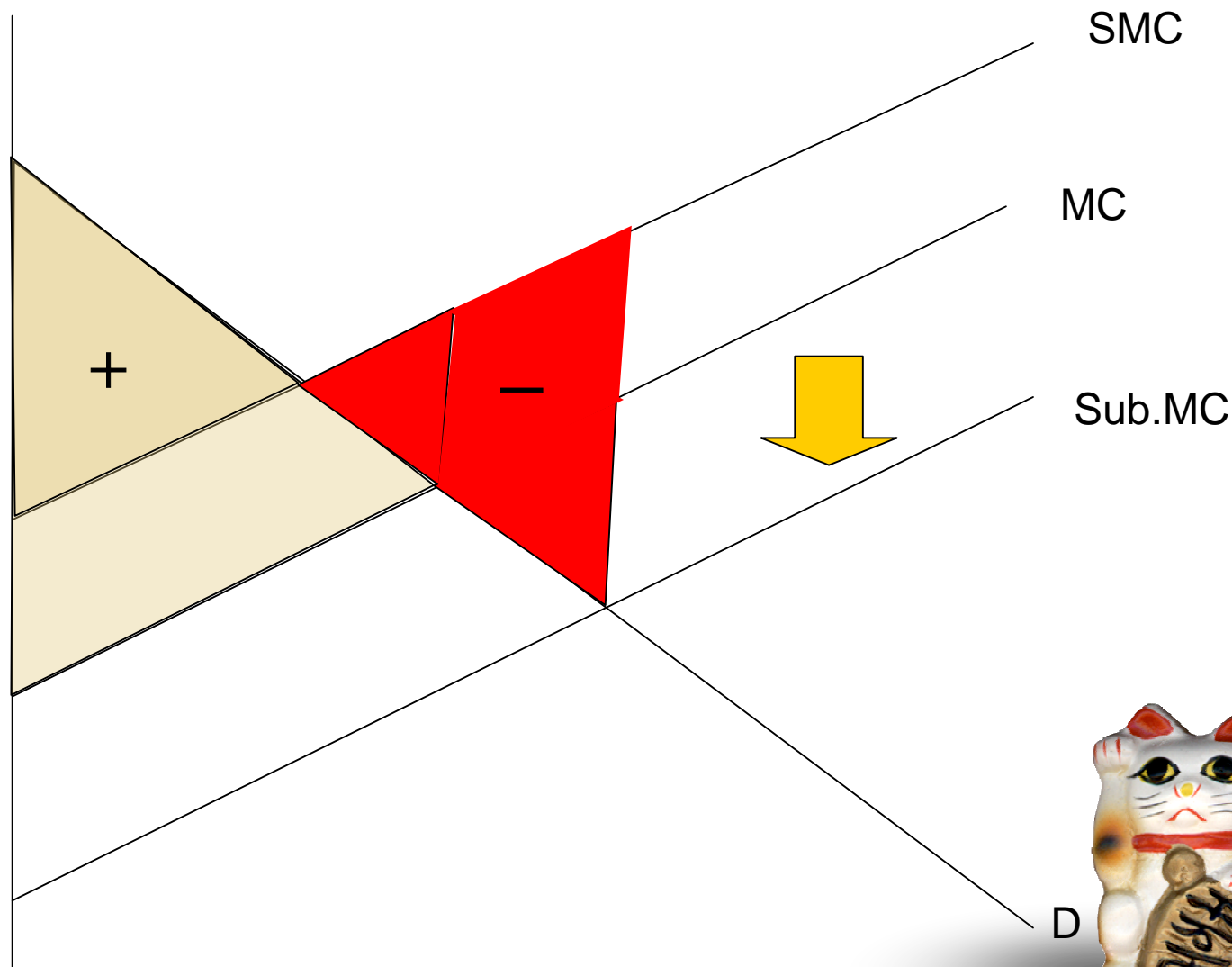


## Estimates of World Subsidies (USD billion)

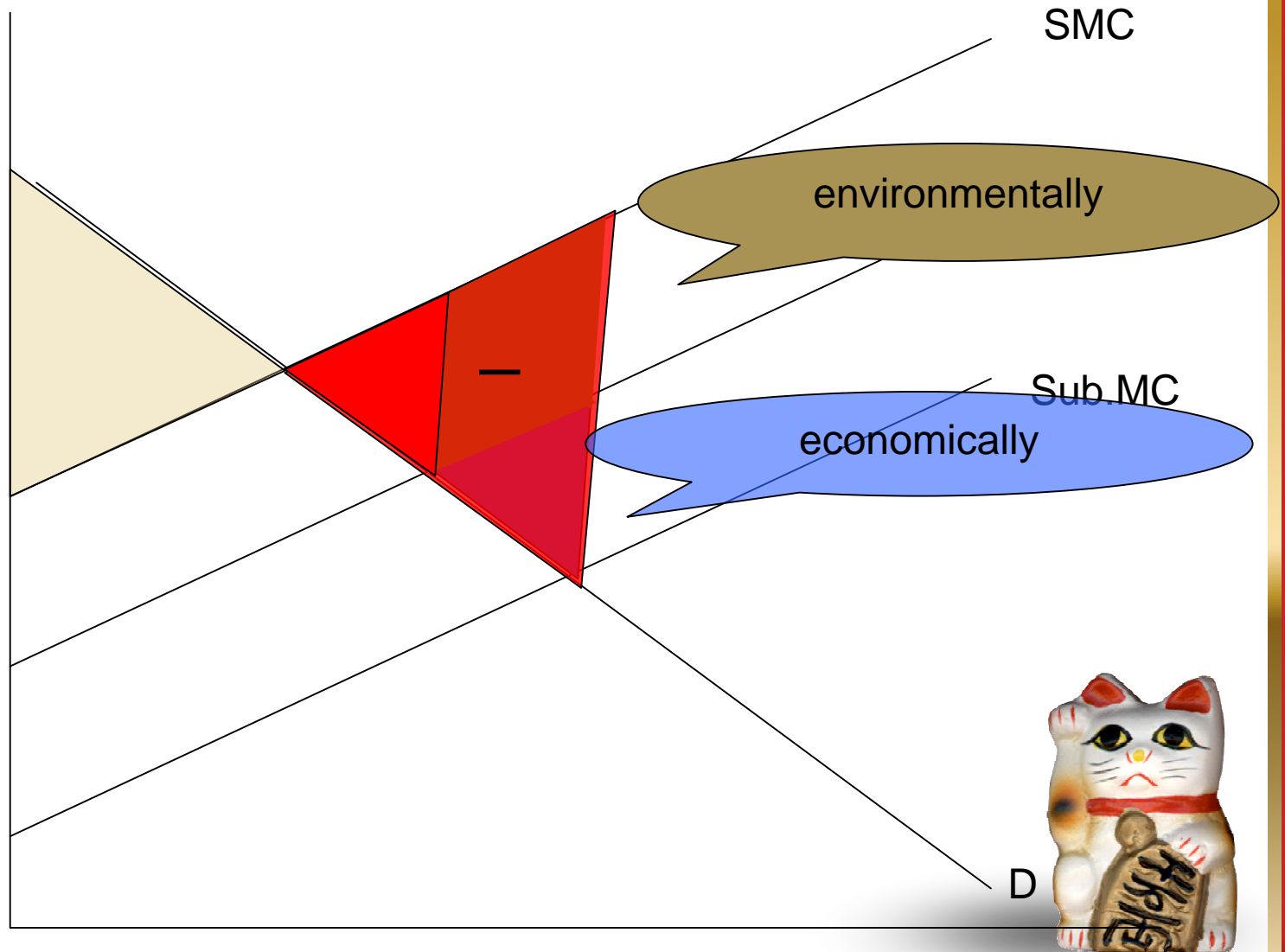
	OECD	Non-OECD	World
Agriculture	335	65	400
Water	15	45	60
Forestry	5	30	35
Fisheries	10	10	20
Mining	25	5	30
Energy	80	160	240
Road transport	200	25	225
Manufacturing	55	Negligible	55
Total	725	340	1065
Total as % GDP	3.4	6.3	4.0



# 外部不経済のあるケース



# 外部不経済のあるケース



# Double Benefit

✦ EHSをremove



economically

environmentally

では、何故そのような補助金が存在し続けているのか？

# Social Purposes

✦ 政策立案者は



Environment

Economy

Society

で考える

# Social Purposes

- ✦ 雇用維持
- ✦ セキュリティ
- ✦ 貧困層の救済

しかし、

→ これらを理由にEHSを正当化出来るかは別の問題

# エネルギー補助金

(OECD, IEA)

エネルギー補助金の定義:

Any government action that

- i) lowers the cost of energy production
- ii) raises the price received by energy producers
- iii) lowers the price paid by energy consumers

i) Lowers the cost of energy production

## ✦ エネルギー生産コストを下げる政策

例)

- ・ドイツやイギリスでの炭鉱労働者の年金・退職金の補助
- ・原子力や石炭発電のR&Dへの補助

ii) Raises the price received by energy producers

✦ エネルギー生産者の収入を上げる政策

例)

石炭購入義務付け



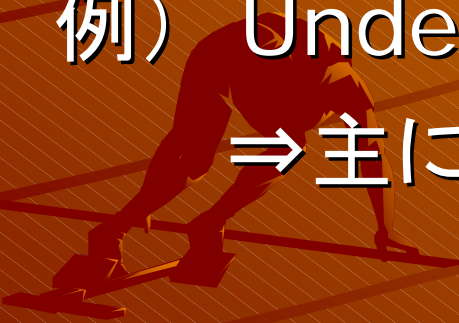


iii) Lowers the price paid by energy consumers

✦ エネルギー消費者が支払う価格を下げる政策

例) Underpricing

⇒ 主に旧社会主義国 + 開発途上国



# ロシア及び中央ヨーロッパ諸国の化石燃料に対する補助率

Countries	Subsidy rates			
	coal	oil	gas	total
Poland	0.26	0.01	0.06	0.18
Czech Republic	0.28	na	0.29	0.22
Romania	0.33	0.02	0.54	0.37
Bulgaria	0.33	0.24	0.23	0.29
Hungary	na	0.02	0.34	0.16
Russia	0.25	0.16	0.42	0.31

iii) Lowers the price paid by energy consumers

## Underpricing

✦ Former Socialist Countries

⇒ 国内エネルギー産業の保護政策

✦ 開発途上国

⇒ 貧困層へのエネルギー供給の補助

# エネルギー補助金

- ✦ 大半が化石燃料の部門に与えられている  
⇒ EHSである

補助金

生産活動・消費活動を押し上げる



温室効果ガス・環境汚染物質の排出増加

保護政策



エネルギー効率・生産性向上のインセンティブが小さくなる危険性

# EHSの現状

世界全体で  
化石燃料への補助は減少傾向



が、しかし

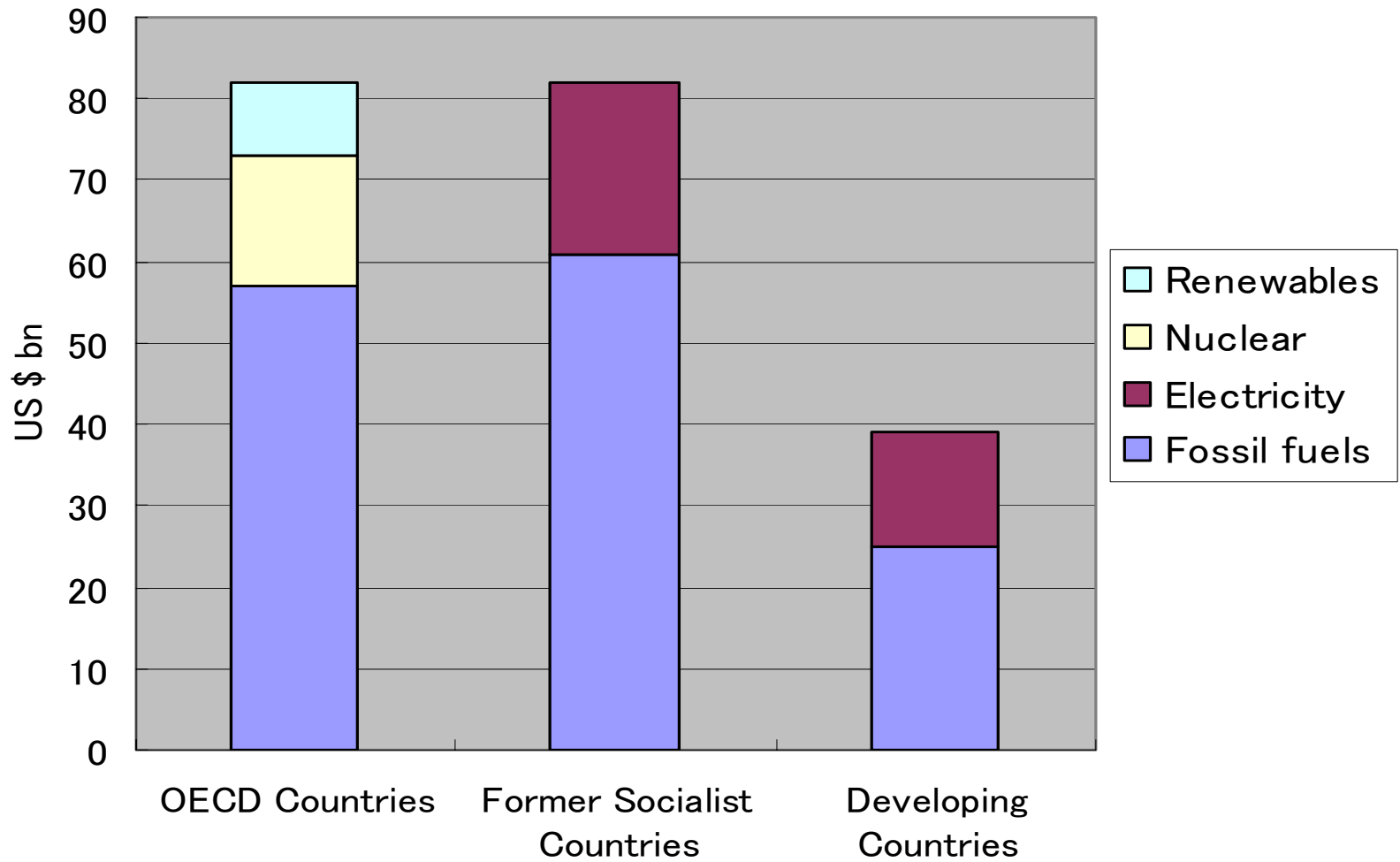
未だに補助はremain



# Estimates of World Subsidies (USD billion)

	OECD	Non-OECD	World
Agriculture	335	65	400
Water	15	45	60
Forestry	5	30	35
Fisheries	10	10	20
Mining	25	5	30
Energy	80	160	240
Road transport	200	25	225
Manufacturing	55	Negligible	55
Total	725	340	1065
Total as % GDP	3.4	6.3	4.0

## Energy Subsidies



# ケース・スタディ インドのLPG(液化石油ガス)補助金

- ✦ LPG(液化石油ガス)⇒調理用・給湯用に使用
- ✦ 少量ボンベに補助金



補助率 48.16% (石油天然ガス省)



# LPG補助金の目的

① 貧困層へのアクセス拡大

② 木材の燃焼⇒室内空気汚染



健康被害

高い乳児死亡率

の改善



# 目的達成の失敗

補助金 ⇒ エネルギー需要増大



エネルギー供給不足



sub.LPG の販売地域 制限  
(人口 2万人以上)

結局恩恵を受けたのは街に住む高所得者のみ

LPG普及

所得上位 ⇒ 40%

下位 ⇒ 4%

# Infant Mortality Rate

(per 1000 live birth)

	1998	2000	2002
India	69	68	65
Japan	4	3	3

UN

乳児死亡率への効果は見られていない

# まとめ

EHS には本来の社会目的にすらかなっていないものも存在する。



この場合、廃止した方が  
“Win-Win” Situation を得られる！



# 一方でEBS(詳細は夏合宿にて)

✦ 外部経済の内部化⇒経済厚生を向上

✦ 社会構造の変革を早期化する  
(前回紹介したホテリング・ルール)



# さらに

⇒技術の市場導入により

知見の蓄積、技術革新の早期化

⇒さらなるコスト削減、環境負荷低下

A silhouette of a runner in starting blocks on a track, with three thought bubbles rising from their head. The background is a warm orange gradient with curved lines.

よって、EBSを促進  
すべき！

# EBS促進時の留意点

## ～競争性の確保～

### ◆ 補助金の公共調達としての意味合い

安くて価値の高いものの調達

### ◆ ただ単に補助金を出すとモラルハザードが起きる危険アリ

⇒ 価格・質において競争性を確保する要

補助金交付における入札制度の検討

# 入札制度の検討

## ◆ 総合評価落札方式の活用

価格と質を総合的に評価する方式

## ◆ 第三者機関の設置

入札手続の運用状況、参加資格設定の経緯、  
苦情処理等

などなど



# 今後の方針

- ◆ どのようなEHSをやめるべきか
- ◆ Social purposes
- ◆ EBSの配分方法(どの技術に?いくら?どう  
いう方法で?いつまで?)
- ◆ 日本の温暖化対策税制と補助金

などを考えていこうと思っています

